

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 六木小学校 校長 田中 琢也

1 学校教育目標

人権尊重の精神を大切にし、国民としての自覚をもち、世界に視野を広げ、社会の進歩と発展に役立つことのできる知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

○考える子 ○助け合う子 ○元気な子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 児童の読書に対する意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する力を伸ばす。
- ③ 図書ボランティアや図書支援員と協働し、様々な取り組みを通して本の楽しさにふれる。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、日常的に本に親しむ態度を養う。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12949 冊（蔵書基準冊数 9560 冊）／ 蔵書率 135%（前年度 124.2%）									
	② 新規購入図書 537 冊 / 廃棄図書 465 冊 / 増減冊数 121 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	5%	6%	13%	4%	2%	6%	5%	56%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 47 冊（前年度末：42 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 89%（前年度末：81%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13277 冊（蔵書基準冊数 9160 冊）／ 蔵書率 144.9 %									
	② 新規購入図書 538 冊 / 廃棄図書 350 冊 / 増減冊数 188 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.9	1.3	4.7	6.4	12.8	4.2	2.9	6.0	5.2	54.7
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、休み時間（前年度からの変更 あり なし ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 43.6 冊（前年度末：47 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 82.8 %（前年度末：89 %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	◎① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 地域のボランティアによる読み聞かせを実施したり、図書館を使う授業をしたりすることにより、本に興味をもち、手に取る機会が増える。		① 各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 高学年の図書委員会児童による読み聞かせの機会をつくり、本に親しませる。読書をする経験を重ねる。		② 読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況		
① 各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で100%行った。		
② 読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読むことができた。年間50冊以上達成児童90%以上。		
③ 学校図書館オリエンテーションを100%の学級で実施できた。図書ボランティアや図書館司書による授業を行い、学校図書館の利用の仕方について知ることができた。		
第2学年	◎① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	

今年度の成果目標		達成基準
① 地域のボランティアによる読み聞かせを実施したり、図書館を使う授業をしたりすることにより、本に興味をもち、手に取る機会が増える。 ② 高学年の図書委員会児童による読み聞かせの機会をつくり、本に親しませる。読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況		
① 各クラス月3回以上、国語で読書や探究活動を100%行った。 ② 図書ボランティアや図書委員、教員による読み聞かせを行い、本に親しませることができた。年間50冊以上達成児童90%以上。 ③ オリエンテーションは行えなかったが、利用の仕方については各クラスで確認した。		
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ◎② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館に掲示してあるおすすめの本を閲覧させるなど、自分の興味のある本だけでなく、幅広い分野の本を読書する意欲を育てる。 ② 辞書や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用のしかたを守って読書することができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり80冊以上の本を読む。 ③ 調べるコンクールに参加する学年児童の割合65%以上
目標達成状況		
①各クラス、月3回以上、読書や探究活動の授業を行えた。 ②生き物や図鑑を使い、調べてまとめる学習を国語の授業を中心にできた。 ③ルールを守って読書することができたが、コンクールに参加する児童はほとんどいなかった。		
第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ◎② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の本を活用した読書発表会を開くなど、様々な分野の本に親しむ機会をつくり、読書への意欲を高める。 ② 辞典を使って調べたことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守って読書することができる。		① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり80冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年の割合が70%以上。
目標達成状況		
①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で100%行った。 ②毎週2冊貸し出しを行い、国語や図書、パワーアップタイム、夏、冬休み、読書週間を利用して、年間一人あたり80冊以上の本を読むことができた。 ③社会や総合の学習で、新聞や図鑑等を用いて調べ学習を適宜行った。調べるコンクールは自由課題となっていたため参加する児童は少なかった。参加する学年の割合は10%程度であった。		
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ◎② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準

① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 鋸南自然教室での調べ学習の際、複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	② 年間一人あたり700ページ以上読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上

目標達成状況

① 週に1回程度読書の時間を作り、読書に親しむことができた。
② 国語や総合の単元で図書館から本を借りて、一つの事柄について複数の本に触れることができた。
③ 調べる学習コンクール参加する児童が15人程度いた。

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。
	② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
----------	------

① 日光自然教室での調べ学習や社会科の歴史新聞などの作成の際の情報源として適切な図書資料を選び、調べ学習に活用することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 読書を通して、多様な文章表現に慣れ、自己の物語文作成に生かすことができる。	② 年間一人あたり1000ページ以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上

目標達成状況

① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で100%行った。
② 国語や図書の時間、パワーアップタイム、夏、冬休み、読書週間を利用して本に触れることができた。
③ 総合的な学習の時間や、国語、自主学習の取り組み等で調べ学習を適宜行った。調べるコンクールは自由課題となっていたため参加する児童は少なかった。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <p>① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れを、前期・後期2回に分けて実施する。</p> <p>② 除籍図書を早期に確定させて、書架整理に努めて、図書を手に取りやすい環境を整える。</p>	<p>① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業は10月・2月・3月に分散して行った。</p> <p>② 廃棄作業は、8月・10月・2月に行った。</p>
<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <p>① 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。</p> <p>② 学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。</p> <p>③ 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。</p>	<p>① 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行った。</p> <p>② 学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践した。</p> <p>③ 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組んだ。</p>
<p>【その他】</p> <p>① 児童一人あたりの貸し出し冊数を通常期間は2冊まで、長期休業中と読書チャレンジ週間は3冊までとし、休み時間の貸し出しをより一層推進するとともに図書の授業を充実させる。</p> <p>② 児童一人あたりの年間貸し出し冊数目標を、47冊とする。</p>	<p>① 児童一人あたりの貸し出し冊数を通常期間は2冊まで、長期休業中と年2回の読書チャレンジ週間には3冊までとし、教職員・支援員が休み時間に読み語りを実施するなどして、図書の授業を充実させた。</p> <p>② 児童一人あたりの年間貸し出し冊数は、昨年度より減少し、43冊となった。</p>

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

本校は足立区の中でも学力の定着が難しい学校の一つである。また、家庭の蔵書数についても都の平均を大きく下回っている。子どもたちの学力づくりにおいては、日頃から活字に親しませ、慣れさせる取組が必須である。今年度の成果としては、読書週間や学校図書館支援員、学校図書館ボランティア、図書委員会、及び教員の読み聞かせにより、子どもたちの読書に対する意欲を高められたことである。しかし、日常化については、さらなる仕掛け（読書カードの活用、教科等での意図的計画的な図書活用等）が必要である。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

本校の子どもたちの情緒面の豊かさ、素直さをさらに長所として伸ばせるよう、読書に親しませることで心を豊かにさせていきたい。PTAや開かれた学校づくり協議会とも力を合わせて、読書活動を推進させたい。